

生活行為向上マネジメント推進プロジェクト特設委員会からの情報発信

生活行為向上推進プロジェクトニュース

平成 29 年 12～3 月号 No.22 (最終号)

目次／平成 29 年 12～3 月号

■新たな推進へ

■協会やプロジェクトの動き

1. 主なプロジェクト事業の実施経過
2. 研修履修状況
3. 第 9 回生活行為向上マネジメント全国推進会議の開催
4. MTDLP 事例検討会の実施に関するアンケート

■プロジェクト各班からの連絡

1. 作業療法重点課題研修「リハビリテーションマネジメントと多職種連携～生活行為向上リハへの対応～」
2. 平成29年度 MTDLP 指導者研修会
3. 日常業務化推進班より
4. その他

新たな推進へ・・・

生活行為向上推進プロジェクト委員会
委員長 谷川 真澄

平成 29 年度も、全国の会員、各士会、推進委員、プロジェクトメンバー、協会部局・委員会が一丸となって MTDLP の普及推進に努めてきました。特に、各士会での地道な研修開催に携わった各士会担当の皆さまには、まずもって、心より御礼申し上げます。

平成 29 年度、委員会で実施した事業実績を①～⑪に示します。

- ①「事例報告作成の手引き 第 2 版」の作成 協会 HP に UP 熟読推奨
- ②事例報告の書き方研修を推進委員に伝達 各士会単位で実施推奨
- ③アンケートから MTDLP 研修資料の修正、研修方法を推奨
- ④指導者研修の企画 1 回開催
- ⑤教員向け研修の企画 1 回開催
- ⑥MTDLP 推進協力校の推進 10→14 校認証
- ⑦生活行為向上リハビリテーション実施加算事例 17 事例収集 ポンチ絵化
- ⑧日常業務化推進のための MTDLP シートのソフト化の完成
- ⑨第 8 回 MTDLP 全国推進会議の開催
- ⑩事務局、学術部、教育部、制度対策部、地域包括ケアシステム推進委員会、47 都道府県委員会との協業、連携
- ⑪各部、委員会への事業継承会議（平成 30 年度事業・予算へ反映）

振り返ると、自立支援型アプローチの実践と作業療法の見える化を目標に、国の負託（国の研究事業）を受けて始まり、MTDLP の開発・完成に至った 5 年と、「作業すること

で人は健康になる！」をキャッチフレーズに MTDLP の実践普及を組織的に展開したプロジェクトの 5 年。作業療法士は作業療法を見つめ直し、専門職としての社会的役割に真正面から向かい合った 10 年と言えます。今や、「生活行為」は国の言葉になり、MTDLP を知らない OT を探すことが困難になりました。

最初に種をまいた研究員、研究事業でフィールドとして協力した全国の士会・士会員、学術部はツールの精度を測り続け、教育部は生涯教育システムに MTDLP 教育を組み込み、養成教育へ普及の手を広げました。数えきれない会員の努力と想いの積み重ねや結集、組織判断があつて MTDLP の現在があります。この新たな作業療法の歴史の重みを感じながら、これから先も肅々と普及推進、発展させていかねばなりません。

平成 27 年度から 3 年、MTDLP の推進を会員の皆様と共有するために、生活行為向上推進プロジェクトニュースで伝え続けてきましたが、今号が最終号となります。平成 30 年度からは、新たな推進体制に変わりますが、MTDLP 推進の情報発信は協会機関誌およびホームページにてさらに分かりやすく発信していく予定です。

近い将来、MTDLP の実践、活用が当たり前になり、国民・国に作業療法がしっかり理解され、作業療法・作業療法士が今まで以上に必要と求められる社会を目指していきます。次年度以降の協会事業へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

< 協会やプロジェクトの動き >

1. 主なプロジェクト事業の実施経過

- 1 月 13 (土) ~ 14 日 (日) リハビリテーションマネジメントと多職種連携
- 1 月 20 (土) ~ 21 日 (日) 生活行為向上マネジメント指導者研修
- 1 月 27 日 (土) MTDLP 本部会議

2. 研修履修状況 研修修了者数 (2 月末現在) 会員数 **57,939 名**

	人数	追加人数	履修率・認定率
MTDLP 概論・演習受講者	21,898 名	1368	37.7%
MTDLP 研修修了者	4,339 名	353	7.4%
MTDLP 指導者	130 名	20	0.2%

3. 第 9 回生活行為向上マネジメント全国推進会議の開催

次年度の開催日が決定しました。最後の全国推進会議となります。

期 日 平成 30 年 5 月 12 日 (土) の 1 日開催です。

1 名分の旅費を協会で支給する予定です。各士会によっては複数参加 (プラス 2 名まで) の希望があるかもしれません。次年度予算計画をご検討ください。

4. MTDLP 事例検討会の実施に関するアンケートの実施

今回のアンケートでは、事例検討会を中心に、今後、MTDLP を士会で運営頂くうえで必要と考える事項を含んでおります。

2~3 月に実施した MTDLP 事例検討会の意実施に関するアンケート調査にご協力いただきました各士会の推進委員、ご担当の皆様、ご協力ありがとうございました。この結果は、5 月 12 日の第 9 回全国推進会議で詳しくご報告させていただきます。

< プロジェクト各班からの連絡 >

1. 作業療法重点課題研修

「リハビリテーションマネジメントと多職種連携～生活行為向上リハへの対応～」

関連事業チーム：生活行為向上リハ対応班長 班長 紅野 勉

平成30年医療・介護報酬の同時改訂では生活行為向上リハビリテーション実施加算の対象が要支援者にまで拡大し、更に算定を困難としていたリハビリテーションマネジメント加算も4段階に区分され、生活行為向上リハ加算の算定を加速するような報酬体系になる見込みです。また、この「活動と参加」を促進する制度は介護領域から医療領域にも発展することが期待されていることから、今年度の研修は作業療法重点課題研修と位置付け、リハビリテーションマネジメントには欠かせない多職種連携の要素を加えた内容に企画しました。

大寒波が日本列島に到来した1月13日(土)~14日(日)、兵庫県リハビリテーションセンター(神戸市)において、①リハビリテーションマネジメント概論 ②リハビリテーションマネジメントと生活行為向上リハへ、③多職種連携、④生活行為向上リハ算定の工夫と対応 ⑤実践事例紹介「施設の取り組みと算定事例の紹介」について研修し、それぞれの講師からの熱いメッセージや実践報告が語られました。また、⑥リハビリテーションマネジメントを実践するための演習では個人ワーク、グループワークを通して活発な意見交換が交わされました。

終了後に参加者の皆様からアンケートにご協力いただきましたが、多くの方から「大変参考になった」「参考になった」との感想を寄せられました。インフルエンザや大雪の影響下での開催となりましたが、今後は作業療法士が働く多領域でのリハビリテーションマネジメントと多職種連携を再確認した研修でした。



2. 平成29年度MTDLP指導者研修会を開催しました!!

MTDLP 指導者研修実行班 班長 竹内 さをり

去る1月20、21日(土、日)に大阪にて、平成29年度指導者研修会を開催いたしました。今年で本研修会は3回目となります。

今回は、26士会から34名に参加頂きました。その内、指導者が25名、暫定ファシリテーターが9名でした。これまでの第1回または2回目の研修会に参加されたリピーター(2回目の受講の方)の参加も11名ありました。

今回は、MTDLP 推進の意義や指導者に期待される役割など、平成30年度の制度改定の内容も含めて、理解いただける内容になったと感じています。また、例年同様、具体的な研修やファシリテート、事例審査の方法など、事例を通して参加者同士で共に考え、学んでいただける機会となりました。繰り返しご参加頂く方にも実のある研修になるために、審査の視点や具体的方法など、トピックスも盛り込んでいます。これらの結果、終了後のアンケートでも好評をいただき、今後の推進を頑張りたいとお声もいただきました。

本研修会は、引き続き年に1回の開催を予定しております。今年度参加できなかった方は、来年度是非ともご参加ください。



土井勝幸さんによる「マネジメント論」
平成 30 年度改定の内容を沢山、学べました

グループワークで事例の検討。各士会の取り組みなど、情報交換の機会にもなりました。

3. 日常業務化推進班 ～MTDLP アプリケーション事業開始～

日常業務化班 班長：永松 謙一 博愛こども成育医療センター

着想から、長い時間を要しましたが、現在 MTDLP 指導者に向けて、MTDLP アプリケーション事業のトライアルを開始しております。日常業務化班にて集めたデータおよびアンケートから MTDLP ツールの完成を図り、来年度の MTDLP 士会連携室事業へ繋げる予定です。

以下 開発画面です。ご参集ください。



生活行為の障害 要因の特定 01223 12345 2017/12/22

生活行為アセスメント演習シート

生活行為向上マネジメント

生活行為目標
春になったら花いじりをしたい
掃除、洗濯ができるようになる

合意した目標
冬の間に自宅で花の水やり、生育状況の確認ができる、掃除、洗濯ができる

アセスメント項目	心身情報・構造的分析 精神機能、痛み、感覚、神経筋機能、運動	活動と参加的分析 運動・移動能力、セルフケア能力	環境因子的分析 用具、環境変化、支援と障壁
生活行為を助けている要因 (ICFコンポーネント)	b114 b140 b730 左半身麻痺無残がある 粗大筋力が低下している(NMMT4)	d415 d430 d450 ? 左側の物への接触がある b126 b140	e310 e410 e310 息子と娘が不仲 掃除機・洗濯機・掃除機用洗剤 掃除機・洗濯機・掃除機用洗剤
現状能力 強か 弱か	b130 後で共同する	d450 d530 d440 d550 屋内歩行が見守り可能 排泄自立 更衣自立 食事自立	e415 e310 掃除機・洗濯機・掃除機用洗剤 掃除機・洗濯機・掃除機用洗剤
予測予測			

総合画面へ
プランへ
結果へ
経過記録へ

マネジメントシート印刷
以下のアイコンをクリックしてICF詳細を確認できます

※印刷用、結果用のマネジメントシートに反映されない場合は、下のボタンを押してください

Reload

生活行為の障害 要因の特定 01223 12345 2017/12/22

生活行為向上プラン演習シート

生活行為向上マネジメント

合意した目標
冬の間に自宅で花の水やり、生育状況の確認ができる、掃除、洗濯ができる

生活行為工程分析	基本的プログラム	応用的プログラム	社会適応プログラム
計画 「水がこぼれる水容器を準備する」 「生活状況に応じて必要な道具を検討する」	① 両上下肢筋力訓練 ② 姿勢訓練 ③ 空間的注意訓練	① 水の入った容器の運搬練習 ② 生育状況の確認、葉をみつけたら掃除機練習 ③ 洗濯機練習	① 外訪時の動作確認 ② 家族訪問による遠行能力、環境 ③ 家族への指導 ④ ケアマネジャーへの申し送り
準備 「水がこぼれる水容器を持ち運ぶ」 「器で水やりをする、鉢の向きを変える」 「植え穴を見つけて出し、掘り取る」			
実行 「安全に葉摘みできたか確認する」 「鉢の腐みがないか確認できたか確認する」			
検証 「完了したか確認する」			
達成	1:目標の達成 2:変更達成 3:未達成 4:中止 (理由:) [結果サマリ]		

それぞれのプログラムにおいて、①～④に本人、⑤～⑥に家族、⑦～⑧に支援者のプログラムを入力すると、印刷用、結果用のマネジメントシートの対応する欄に自動的に入力されます。

※印刷用、結果用のマネジメントシートに反映されない場合は、横のボタンを押してください。

Reload

Management Tool for Daily Life Performance _ into a database

生活行為申し込み表の入力

生活行為申し込み表

氏名: _____ 年齢: _____ 性別 (男・女) 作成日: H____年 ____月 ____日

今後も健康や生活行為を維持するため、下記のとおり指導いたしました。引き続き継続できるよう日常生活のなかでの支援をお願いいたします。

担当者:

【元気なときの生活状況】 【支援のきっかけ】 【ご本人ができるようになったこと・困っていること】

【現在の生活状況】(本人の能力を記載する) ※該当箇所にはしをつける

ADL-IADL項目	している	しているが不安	できない	実施が困難	特記事項
食べる・飲む	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
移動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
整容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
トイレ行為	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
入浴	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
平地歩行	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
階段昇降	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
更衣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
屋内移動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
屋外移動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
交通機関利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【リハビリテーションにおける作業療法目的と内容】

「冬の間、自宅で花の水やりができる」「拭き掃除と洗濯ができる」ことに加え、元々四肢の筋力低下とバランス能力低下あり、転倒歴もあったことから「安全にのり自宅内歩行ができる」ことも目標に据わって行いました。

後述しますが、左半身麻痺という左側を見落とす傾向があり、花の水やりと掃除、洗濯では見落とさない(出来るようになる)ための練習と、歩行と拭き掃除、洗濯物の運搬安全に行うように指導療法で歩行練習や筋力訓練、作業療法では動作方法や道具の工夫に関して指導を行いました。

【日常生活の主な過ごし方】

息子さんが高齢で、リハビリ以外に時間を有効活用して過ごされています。

印刷する

MTDLP 関係メディア,雑誌情報

◎マニュアルが改訂されました. 今後の研修は, 改訂版で研修を行うようにお願いします.

57: 生活行為向上マネジメント第2版 1000円

事務連絡

- ・『作業療法マニュアル57』を購入する際は, 協会ホームページから注文書をダウンロードしてご注文ください. 発送までには1週間~10日かかりますので, ご注意ください.

編集/生活行為向上マネジメント連携システム班 (担当: 濱田)